

まちがいはなし

2枚の絵を見くらべて、まちがいを8カ所見つけてね。全問正解された方のうち、抽選で10人の方に図書カードもしくはフオカードをプレゼントします。

秘書広報課 ☎66♦1145

応募方法

ハガキまたはファクスに①答え(左の絵に○をつける)②住所③氏名(ふりがな)④年齢⑤電話番号⑥広報紙の感想、⑦意見などを書いて秘書広報課(〒443-88001 FAX 66♦1190)へ。なお、当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます。

とうふねこ座：市川雅子 画

応募締切

7月15日(水)



萩原左衛門(大塚町)

「こは、相楽の山の石垣の穴、ボカボカ陽気に穴からテローンと伸びてるのはアオタイシヨウの青太郎。遠くでヒメハルゼミの鳴き声が聞こえる。」

「あ、はりへったな。」

「おい、そのへび、団子食べるか? ほれ、つまいで。」

「はへっ、つままい! ありがと。ほく、さがら青太郎。」

「わしは萩原左衛門じゃ。どうじゃ青太郎、わしの城へ来るか?」

「うん!」

「しばらく登っていくと御堂山の頂上に着いた。不思議な岩がある。」

「こじや、大パノラマの絶景の地にわしが造った岩、丹野城じゃ。青太郎わしの肩においで。こうして岩に立つと、国坂峠、御堂山街道、星越峠を見下ろすことが出来るじゃろ。東、西、北からの交通が見渡せる、丹野城は戦略上の要の地なのじゃ。」

「サエモンさん、こい!」

「お、そうかあ♥青太郎ここに居並ぶ兵士たちは、備後からわしと共に来た家臣たちと、全福寺と僧院から集めた者たちじゃ。」

「あ、お寺のお坊さんじゃん。」

「どうじゃ、甲冑を身に着ければ立派な兵士じゃ。ん? なんじゃと!」

「どうしたの?」

「山の下から敵が攻めてきたのじゃ! 小癩な! 退治してくれよう! 皆の者すぐ出陣じゃ!」

「サエモンさん!」

「青太郎が急いで一里ほど下りていくと、備後林は無残な情景だった。萩原の忠臣たちが打ち死にしており、馬上でサエモンさんが自ら命を絶っていた。部下の一部による謀反によって命を落としたのだ。青太郎が振り返ると、丹野城は落城し、全福寺が炎上していた。」

「うわあ大変だあ! ドッシーン...! イタタタ、フニヤア? こは石垣だ。山も燃えてないし...」

「いまは夢だったのかあ?」

「なんだかヒメハルゼミの鳴き声がサエモンさんの声に聞こえてきたよ!」

萩原左衛門尉芳信(はぎわらささえもん)のじょうよしのぶ...戦国時代の武将・丹野城主。1469年備後の国(現在の広島県)より丹野山へ落ちて来た。全福寺を占領し、丹後・山形・赤根を支配。1470年死去。現在は萩原神社(豊川市御津町)に祀られており、長興寺にご位牌が納められている。

ヒメハルゼミ...7月初旬に鳴く。ハンニヤゼミとも言われる。蒲郡市天然記念物。

【参考資料】大塚相楽ふるさと博物館資料集

◆5月号の答え

